



平成26年11月13日

各位

上場会社名 三光産業株式会社  
 代表者 代表取締役社長 遠藤 幹雄  
 (コード番号 7922)  
 問合せ先 取締役経理部長 高橋 光弘  
 (TEL 03-3403-8134)

### 平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成26年5月14日に公表いたしました平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。また、併せて特別損失の計上を下記のとおり行いましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

##### (1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,000	百万円 50	百万円 50	百万円 25	円 銭 4.03
実績値(B)	4,448	△85	△51	△91	△14.74
増減額(B-A)	△551	△135	△101	△116	
増減率(%)	△11.0	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	4,595	△22	52	38	6.26

##### (2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,000	百万円 70	百万円 70	百万円 40	円 銭 6.45
実績値(B)	3,860	48	78	37	6.10
増減額(B-A)	△139	△21	8	△2	
増減率(%)	△3.5	△30.5	11.9	△5.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	3,976	109	180	163	26.37

(3) 平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異理由

平成27年3月期第2四半期累計期間の売上高につきましては、日本国内及び海外において積極的な営業活動を展開いたしました。海外子会社における受注量が減少したことにより、予想を下回る結果となりました。

利益面につきましては、個別においては一昨年に実施した工場の一部再編等によるコスト削減効果や為替差益の計上があり、ほぼ当初予想通りで推移いたしました。連結においては売上高の減少及びコスト競争等による売上利益率の悪化により当初予想を下回った結果、連結ベースの営業利益、経常利益とも前回予想を下回る結果となり、更に下記減損損失等の特別損失の発生により四半期純利益も前回予想を大きく下回る結果となりました。

2. 特別損失の計上について

当社は本日公表の「生産拠点の集約に伴う国内2工場及び連結子会社の工場閉鎖に関するお知らせ」とおり、当社の製造工場である方南工場、川越第二工場及び連結子会社の三光プリンティング株式会社板橋工場を閉鎖し、千曲川工場に集約することを決議いたしました。これに伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき閉鎖予定の工場で使用している土地、建物等について減損損失27百万円及び建物撤去費用を見積り工場再編損として13百万円を特別損失に計上いたしました。

3. 今後の見通し

平成27年3月期の通期の業績予想につきましては、現在、精査中であり精査が終わり次第速やかにお知らせいたします。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上